

第31号

令和5年6月1日発行

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



主な記事

- 第1回定例会報告・臨時議会報告・令和5年度予算 P2~P7
- 町政** ここを問う（総括質問） P8~P11
- 常任委員会報告、移住者インタビュー P12~P13
- 議会構成（新体制）、各種委員会報告 P14



おもいやり明日へ

Kindness for Tomorrow



<http://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>

奈井江町議会

検索

第1回臨時会で審議された議案

令和5年1月27日開催

【議案審査結果】

- 令和4年度奈井江町一般会計補正予算（第9号）……………全会一致
歳入歳出に151万円追加し、総額58億1,320万円
主な内容 妊娠・出産時の助成、交流プラザみなクルのエアコン修繕、大雪による経費増額

…………… 第1回定例会で審議された議案 …………… 三本町長二期目予算を全会一致認定!!

第1回定例会は3月3日から16日まで開催されました。

令和5年度予算議案5件総額84億7,462万円、予算関連議案3件は予算審査特別委員会にて審議し、条例改正など全23議案を原案のとおり可決しました。

【議案審査結果】

報告	奈井江町地域福祉計画・地域福祉実践計画の策定 令和5年から令和7年までの計画の報告	報告済
補正予算	令和4年度一般会計補正予算（第10号） 各事業の見込み精査により 7,374万円を減額	全会一致
	令和4年度国民健康保険事業会計補正予算（第3号） 各事業の見込み精査により 458万円を減額	全会一致
	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 各事業の見込み精査により 654万円を減額	全会一致
	令和4年度下水道事業会計補正予算（第4号） 各事業の見込み精査により 1,705万円を減額	全会一致
	令和4年度国民健康保険病院事業会補正予算（第4号） 外来・入院患者減に伴い繰越実質収支 6,941万円の赤字見込み	全会一致
新年度予算	令和5年度一般会計・2特別会計・2企業会計予算、予算関連条例等3件 予算審査特別委員会で審議、詳細は4ページで報告	全会一致
	令和5年度一般会計補正予算（第1号） 新型コロナウイルスワクチン接種費用3,689万円を増額	全会一致
条例等	青少年問題協議会条例の一部を改正する条例 地方青少年問題協議会法に基づき、本条例の一部を改正	全会一致
	道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 自動運行補助施設に掛かる区分を追加し、占有料を定めるための改正	全会一致
	道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例 道路構造令の一部改正に伴い、自動運行補助施設を追加し、歩行者利便増進道路の規定を定めるため一部を改正	全会一致

条 例 等	放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴う改正	全会一致
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴う改正	全会一致
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴う改正	全会一致
	課設置条例の一部を改正する条例 4月1日より会計課を廃止し、契約に関しては総務課に、町税、使用料及び保険料の徴収は町民生活課に徴収係を設置し窓口業務は継続する。	全会一致
	個人情報保護に関する法律施行条例 個人情報の保護に関する法律の施行に関し必要な事項を定めるとともに、個人情報保護条例の廃止、公文書公開条例の一部改正等を行うため制定	全会一致
会議案	奈井江町議会の保有する個人情報の保護に関する条例 地方議会は個人情報の保護に関する法律の適用除外となるため制定	全会一致

【請願・意見書審議結果】

意見書名	提案者
食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める意見書	竹森 毅議員

上記の意見書は全会一致で可決し、内閣総理大臣、財務大臣ほか関係大臣に提出しました。

第2回臨時会で審議された議案

令和5年4月27日開催

【議案審査結果】

- 令和4年度 奈井江町一般会計補正予算（第11号）の専決処分……………全会一致
交付税の確定により8,058万円追加し、総額58億2,044万円。
- 令和5年度 奈井江町一般会計補正予算（第2号）……………全会一致
低所得の子育て世帯支援特別給付金142万円追加し、総額66億531万円。
- 奈井江町税条例及び奈井江町都市計画条例の一部を改正する条例……………全会一致
地方税法の一部改正に伴い、町税条例及び都市計税法の一部改正。
- 奈井江町文化ホールコンチェルトホール空調設備更新工事の契約……………全会一致
契約金額 5,093万円、契約先 高橋・千永経常建設共同企業体。
- 人事案件3件……………全会一致
○公平委員 山口俊哉氏がR 5.4.30辞職のため、後任として首藤繁勝氏の選任に同意。
○監査委員 中野浩二氏がR 5.4.30任期満了のため、後任として山口俊哉氏の選任に同意。
○固定資産評価員 田野義美氏がR 5.3.31辞職のため、後任として横山誠氏の選任に同意。

関連条例

- 奈井江町税の一部を改正する条例
国民健康保険法施行令の改正に伴う改正。負担軽減額、軽減判定所得の引き上げ等
- 奈井江町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償並びに嘱託手当等に関する条例の一部を改正する条例
学校運営委員会の設置に伴い、委員報酬を定めるための改正
- 過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更
実施予定事業の追加及び進捗状況等による記載事項の修正
パークゴルフ場送水設備新設、病院医療施設設備、文化ホール空調設備設置等を追加。

各会計の予算額

区 分		令和5年度	令和4年度	増減
一 般 会 計		65億6,700万円	52億 700万円	13億6,000万円
特別 会計	国民健康保険事業	1億9,130万円	1億8,100万円	1,030万円
	後期高齢者医療	1億 860万円	1億 880万円	△20万円
	下水道事業	0	3億9,870万円	△3億9,870万円
企業 会計	下水道事業	6億4,525万円	0	6億4,525万円
	町立国保病院事業	9億6,247万円	9億1,581万円	4,667万円
合 計		84億7,462万円	68億1,131万円	16億6,332万円

一般会計の主な事業 役場庁舎整備事業 15億9,631万円 定住促進対策事業 4,328万円
生涯活躍のまち事業 1億5,046万円 町道除排雪等 2億3,012万円

	令和4年度末 繰越実質収支見込	令和5年度当初予算	
		単年度実質収支	繰越実質収支
下水道事業会計	—	0	0
町立国保病院事業	△6,941万円	△2,131万円	△9,072万円
(実質赤字比率)	14.7%		18.5%

一般会計から各会計への繰り出し金

区 分	国・道補助分	町持ち出し分	計
国民健康保険事業会計	2,058万円	2,624万円	4,682万円
後期高齢者特別会計	2,364万円	1,295万円	3,659万円
下水道事業会計	1億7,039万円	4,525万円	2億1,564万円
町立国保病院事業会計	2億4,623万円	1億3,143万円	3億7,766万円
合 計	4億6,084万円	2億1,587万円	6億7,671万円

予算審査特別委員会審査結果報告

第一回定例会では町から提案された新年度予算が、町民の皆様の意見を反映したものになっているか等審議するため、委員会を設置し審査を行うものです（結果報告内容抜粋）

➔ 公営住宅の整備について

高齢化の進展で除排雪が課題となっている。住み替え等については町の方針を理解いただき除排雪の効率的な管理に努めて頂きたい。（P8参考）



➔ 役場庁舎の整備

町財政や経済動向に注視しながら整備を進めていただきたい。
工事期間中の駐車場の確保等配慮願う。

➔ 公設塾

本町に定着し多くの子どもたちがいきいきと楽しく学んでいる。今後も子どもたちが学習に集中できるような環境の整備に努めていただきたい。



➔ 下水道事業会計

人口減少による料金収入の減、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大等厳しさが増す。
企業会計の理念を踏まえた運営をしていただきたい。

➔ 町立国保病院事業

厳しい経営状況が続いているが、さらなる改善を望む。引き続き町民の期待と信頼に応えるよう進めていただきたい。

➔ 防災について

防災意識を高めるためには、より多くの方に関心を持っていただくことが重要。要支援者等の個別避難計画の策定も重要であることから、整備されるよう進めていただきたい。

➔ 就労の創出と定住促進

子育て世代や高齢者等の生きがいづくりにつながることから着実に推進されたい。空き家を活用した住宅供給システムの構築、空き店舗等の活用では新たな活躍の場の創出により移住・定住が更に加速することを願う。（P10参考）

➔ 多世代共生型地域公共交通

高齢化や人口減少に伴い、移動手段である公共交通の確保が重要。公共交通の維持・確保、利便性の向上等取り組みが図られるよう調査・検討を願う。（P9参考）

質疑あれこれ 主なQ&A

UHB情報中止理由

問 ホームページ、LINEは充実したが、UHB情報は中止となった。中止理由を伺う。

答 企画財政課参事

防災無線がないため、この対策として緊急情報一斉伝達システムを考えるうえで、LINEは2月末で911名とまだ普及の必要性があります。UHBの利用状況が把握できないこ

と、コストがLINEより高いこと、今後スマートフォンの活用が進むことなどから、情報伝達方法の集約化も考えUHB地上波放送は中止とした。

役場庁舎の備品購入

問 備品購入費1億517万円で何をかうのか。

答 総務課長

デスク、テーブル、チェア等事務関係、ロッカー関係、ロビー等に置くベンチ、応接セットなどです。

問 実施設計では7,500万円であったが増額の内容は。

答 総務課長

実施設計以降2回価格改定がありこのような価格となっています。

秋にはさらに価格改定があると聞いていますので早期に発注し、納入は庁舎の

引き渡し後とすることを、現在検討しています。

起業人派遣事業

問 奈井江版生涯活躍のまちの地域活性化企業人制度とは。

答 企画財政課参事

首都圏の企業の職員を最大3年間、自治体に派遣できる制度で、1人当たり特別交付税で560万円まで財政措置がされる制度です。

昨年10月からの1名は生涯活躍のまちアドバイザーとして主に空き家対策事業に携わっていただいています。新年度からの方には、地域活性化アドバイザーとして奈井江町の資源・魅力等の活用や発信に携わっていただくこととしています。

子育て応援事業

問 新規事業だがどのように進めるのか。

答 保健福祉課長

出産・子育て応援給付金ということで、母子手帳を取りに来た妊婦さんに申請していただき、出産までに掛かる費用として5万円を給付。出産後も申請いただいて子育てに必要な用品を購入する費用として5万円を支給いたします。

全国的にはクーポンの発行ということでしたが、奈井江町で育児用品をそろえることが難しいということで現金で給付することといたしました。10万円を20人分見えています。

保健センタートレーニング機器更新

問 トレーニング機器の更新とあるが何を更新するのか。

答 保健福祉課長

現在、様々な機器を整備していますが、かなり老朽化していることから、今回更新して新しい庁舎に整備したいと考えています。機種の設定に当たっては利用頻度の高いものや、必要なものを検討し更新したいと考えています。



保健センター

コロナワクチン接種

問 コロナワクチン接種費用が58万9,000円となっているが、令和5年のワクチン接種はどうか。

答 保健福祉課長

令和5年3月中に接種される方の請求が6月に来ますので、その分の経費を見込んでいます。

令和5年度の体制については、改めて国から詳細に示されてきますので、一定方向を示されたときには、補正予算等で対応いたします。

※定例会最終日に新型コロナウイルスワクチン接種費用3,689万円を増額補正した。



文化ホール

問 コンチエルトホールのエアコン等の改修時期と休館について。

答 教育委員会事務局長

4月に冷暖房設備の入札を行い、製造期間が約5カ月必要なことから10月までが製造期間と考えています。10月6日に中学校の芸術鑑賞会を予定していますので、終了後から10月末まで休館を予定しています。

問 文化ホールは30周年を迎えた。自主事業が増えると思うが内容は。

答 教育委員会事務局長

自主事業は北海道寄席演芸会という落語の事業など9事業を予定しています。無償のものもありますが、生涯活躍のまちの事業で379万2千円を予定しており、9事業合わせて564万3千円を予定しています。

地域交流センター(道の駅)

問 令和6年度からの指定管理業者選定の進め方。

答 産業観光課長

現在、選定のスケジュールや選定の方法は未定ですが、従来の形式にとらわれず、前回の課題も踏まえてスケジュールも含めた選定方法等を検討しなければならぬと考えています。

問 道の駅の在り方について町長の所見を伺う。

答 町長

道の駅に期待する気持ちは十分理解しています。建設当時は道内26番目で、画期的な建物として注目されたこともあり、全道で1番になったこともあります。今は道の駅の在り方も変わってきており、最近の道の駅はショッピングモール



道の駅

けた努力はしていきたいと思っております。

町立国保病院

問 建設改良2項目の必要性を伺う。

答 町立病院事務局長

1点目はレントゲンシステムで2,251万円と大きな投資になりますが、耐用年数を経過しており設備点検メーカーより更新が必要であると指摘を受けているものです。

もう1点は受電設備で建設から一度も更新がなく、こちらもすでに耐用年数が過ぎており、計画的な更新が必要とのことです。今回その一部187万円を計上いたしました。メーカーの指摘では7点ほどの更新が必要とのことです。今後計画的な更新を考えていきます。

町政 ここを問う

3月定例会では4人の議員が**総括質問**を行いました。

QRコードを読み取ることで総括質問の音声を聞くことができます。

今後の公営住宅の管理

どのように考えるのか



遠藤共子

町長

①入居者の方にとって、住み慣れた地域での生活、家賃の問題などの考えがあることも理解をしておき、住み替えを強制することはできないが、計画的な維持管理を進める上で、この住み替えの趣旨や転居先の状況、新たな家賃など具体的に御説明を申し上げています。

②入退去時の補修については、日常の空き家の管理も含めて新規の入居申請時に、生活に支障がないように、修繕を行い、入居される方の確認を頂き入居を開始している。
そのほか、空き家については、退去時の状態を確認

し、最低限の管理にとどめ衛生管理や除排雪に意を用いて対応している。

今後、近隣の住居環境に配慮するほか、外部の破損など住居の老朽化に影響を与えるような場合は、適切な対応に努めていく。

今後、年数の経過とともに老朽化が進むが、公営住宅長寿命化計画で全体の戸数管理の在り方、政策空き家の考え方など、課題の整理を行っていく。

③公営住宅の入居の仕組みとして、風呂釜は入居者が取付けを行うことになっている。一昨年から、その対応を簡易にするため、みのり団地において、ガス供給事業者による風呂釜と浴槽の賃貸の仕組みを取り入れられている。

冬場の雪の対応では、公営住宅のみならず、高齢化が進む中、全町的な課題と考えている。
町内業者により公住の空き家の除排雪を実施してい

るが一方で、全町的な除排雪の対応そのものが将来的には業者の担い手不足などが懸念される。

また空き家がまばらな状況になっていくからこえて、集合させていただき効率的な除排雪、住環境、生活環境が改善するという思いで御協力をお願いしている。

空き家・空き店舗の活用についての考え方は

遠藤

空き家を活用した住宅供給システムでは、地域のニーズを的確に把握しなければ、うまく収益に結びつかない。借り手を獲得するには、周辺の物件に負けない魅力が必要と思う。また空き店舗を活用した企業サポートにはどのような支援策があるのか。

町長

放置されている住宅に視点を当て、所有者の代わりに、リフォームし移住希望者等に低廉な家賃で住宅を

供給することが住まいの幸せ循環システムの構築の目的。
ないえ共奏ネットワークが事業主体となり、商工会、町民、町職員等で検討委員会を開催し、空き家所有者と賃貸希望者のニーズをつなぐ新たな仕組みを検討している。参考としている事例には、①所有者から固定資産相当額で空き家を借り、リフォーム後、一括借上げ事業。②賃貸契約終了後に譲渡型賃貸事業などがあるが、先進地の事例を参考に議論が必要。空き店舗の活用では商店街の活性化や、地域経済の活性化を図ることを目的としており、チャレンジショップや飲食店など空き店舗の活用と併せ、起業者のアイデアを生かせる仕組み、環境づくりが必要であると伺っている。

生涯活躍のまちづくり事業は、地方創生推進交付金を活用して進め、特定の個人や個別企業に金銭給付ができない。共奏ネットが空き店舗を借り上げ、事業者に賃貸する。

多世代共生型地域公共交通について

検討スケジュールは



町長 令和7年から本格運行を目指す



大関光敏

大関

令和4年10月から検討を始めたが、今後のスケジュールは

町長

令和4年は公共交通に関わりのある役場内各課における課題と、公共交通の持つ役割などのヒアリングを行う。

令和5年は、属性別の移動実態や外出ニーズの調査、把握を目的として、町民実態調査や庁内ワーキングの内容を整理しつつ、交通関係事業者と町外関係者とのヒアリングを行い、事

業者間連携や町としての一体的運用の可能性を探るとともに、多様な交通資源をどのように位置づけていくか検討予定。

令和6年は、現状把握の整理を行うとともに、事業の中で行ってきた既存情報の整理、評価、実態把握のためのアンケートやヒアリングで蓄積された情報分析を基に、庁内ワーキングの場での方向性を確認し、分野横断的な基本構想を作成するとともに、実証実験を行いながら、令和7年から本格運行を目指す予定。

公園整備の考え方について

もっとメリハリのある

整備をしては

町長 適切な設備を心掛ける

大関

子育て世代が増えてきた。以前と環境が変わってきたが整備計画の変更は

町長

公園の維持管理の基本方針は、町の公共施設等総合

ながら、子育て世帯の方々や定住された方々などからニーズの把握に努めて公園

の利用実態や環境の変化をとらえた適切な整備が行われるよう検討していく。

読書推進計画について

方向性は

教育長 状況をとらえて、実効性のあるものに

大関

スマホの普及により本を読む機会が減ったり、読書環境が変化してきたこの時代にどの様な方向性を持つて読書推進計画を策定するか。

館に行こう授業」など、環境整備に取り組んできた。コロナ前の全人口に占める1人当たりの貸出冊数は年4冊。この年4冊はどういった人達、どういった本で構成されているか、図書館を利用しない人はどれ位いるかなど、読書に関する調査を行い、どういうきっかけで2冊目以降を手にするのか？

教育長

子どもの読書推進活動事業については、乳児と保護者に本をプレゼントしたり読み聞かせを行うブックスタート。

3歳児へのブックセカンド。小学校入学前のブックサード事業。小中学校の図書室の環境改善。公設塾での設置や朝力ツでの「図書

教育ビジョンやCSの策定時と同様に、様々な現状を捉えて、その上で多世代に対し、求められる役割を検討し、町民の声を聞きながら社会教育委員や教育委員会での議論を行い実効性のあるものにした。

奈井江版生涯活躍のまち事業の推進について (事業は、令和4年から5年間)



石川正人

石川
進捗状況と今後の展望は？

事業への町民の理解と参加を求めるように、積極的に町内外に動きを発信して行きたい。

町長

令和5年度からの本格スタートに向け進めてきた。事業のシンボルとも言えるしごとコンビニ事業は、早ければ5月中に本格運用を始める。しごとチャレンジプロジェクト、住まいの幸せ循環システムの方向性は3月中に取りまとめる。会議参加者の危機感が強く、早く取り組む必要があると言っている意見がある。モデルプランを作って、令和5年度中1カ所でも実施できるように進めて行きたい。

石川
4年後の事業終了時の姿を、どのように想像するか？

町長

みんなで奈井江町らしさを残しながら、奈井江町の進むべき方向が確認できた状況になって欲しい。私を含め、町民の思いや課題を皆で話し合い共有して、町の未来を描きたい。そのツールが、生涯活躍のまちの各事業と捉えている。

石川
今後事業の詳しい経過等の説明を頂きたい。

町長

今後全部公開して行く。行政だけではなく、町民と一緒に考えてもらい、住むことに生きがいや喜びを持ってもらいたい。

石川
多世代共生型交通システムと、空知や空知の公共交通計画の関連について

町長

町の生活交通改善計画は、空知の交通計画と連動を図って作成する。多世代共生型交通システムも、関係機関と連携を取り整合を図って行くが、町内の状況に合わせる方が大切であり、しっかりと議論して行く。

石川
中空知地域公共交通計画は、令和4年度中に作成されるが、奈井江町の現状は反映されるのか？

町長

町の具体的な現状は伝えられている。幹線の維持を自治体が抱える為の材料として地方の現状を理解してもらわなければならないと思っている。

石川
一般社団法人ないえ共奏ネットワーク(共奏ネット)が行う事業と、町が行う事業との違いやメリットは？

町長

共奏ネットは、町を補完する立場で事業を行う。社団法人が行う事で、行政の考え方の枠を超えた民間的な幅広い感覚、手法でスムーズな事業展開が出来る。

石川
事業の最大の課題は、当事者であり主役の町民の参加を促し意見を反映させる事だと思いが？

町長

町民が参加して検討すること自体が町民の、まちづくりに対する意識の醸成に繋がると思う。事業の経過や点検にも、皆さんが声を出して頂く事が、一番大切な事だと認識している。

石川
事業に多くの町民の参加を求めるには、兼務をしている町職員が、直接街に出て町民の肌を聴くことが大切だと思いが？

町長

その通りだと思う。職員が兼職する意味が、そこにあることを、職員に十分喚起して行きたい。その中で、兼職をしている職員から、行政職員ではない町の人たちに入れ替わり、担い手になってもらうことを望んでいる。

安心安全に住みつづけるために

各種防災訓練に

AR・VRを導入



町長 町単独での導入は大変きびしい。今後研究、検討させていただく



笹木利津子

笹木

防災訓練に、参加者が防災に対して関心を深めるよ

う、より効果的にその場で危機回避の体験ができるAR（拡張現実）VR（仮想現実）で、疑似体験、消火疑似体験を通して、災害に対してより関心を持つのではないか。

町長

防災訓練では防災セミナー

全町的な支え合い

ネットワークの推進

町長 町として介護予防・生活支援サービスの充実を図り、支え合い・助け合う地域社会づくりを目指している

笹木

・日常の買い物などなどへの推進
・認知症の人も家族も安心な地域づくり

・心のサポーター養成制度の充実
・ヤングケアラー等への支援の推進
・地域防災力の向上への取り組み強化

1、総合防災訓練、学校での防災教室を実施している。AR・VRは認識をしているが、町単独での実施には予算も必要になる。ま

子育て支援の充実

妊娠・出産・

子育て世代への支援

町長 奈井江町子ども・子育て支援計画を策定。子育て支援施策を推進している

笹木

・0歳児の見守り訪問事業

の展開について
家事支援（産後ドゥーラ）の確保について

ずは職員の実績などを踏まえ、道や他の団体の防災活動と併せて実施できないか、検討させていただく。

・子ども食堂の整備充実について

町長

・新生児訪問、産婦訪問、乳児健診や乳児相談等で保護者の不安や悩みを聞き必要に応じて、個別支援を行っている。
産後ドゥーラの資格取得には研修が必要で、支援制度の創設は難しい。

・子ども食堂は、行政主導の実施は難しいと捉えている。今後は関係機関、地域団体と連携して、食育活動を進め、健全で豊かな食生活を送れるよう支援して参りたい。

町長

・介護保険制度のヘルパー支援、各店舗の宅配サービス、コープさっぽろの巡回移動販売車が主なサービスと認識。また地域支え合い推進会議において買い物の同行サービスなどを議論し、地域公共交通の在り方として高齢者の移動手段も含め、検討を重ねて参りたい。
・認知症総合支援事業として、近隣1市4町で構成

する初期集中支援チームを立ち上げ砂川市立病院の医師をサポート医として、助言を受け、ケース検討やケース支援を実施している。
・当町では平成30年に（自殺対策計画）を策定。様々な角度から支援体制を検討、実施してきた。今後養成方法に基づき心のサポーターの養成を検討して参りたい。
・介護相談の実施と、要介護者ご本人及び介護者の

状況に合わせて、必要なマネジメントの下、対象世帯にあった支援に当たっている。
・現在、避難行動要支援者数として379名の名簿を整理している。個別避難計画については時間を要するが、計画の作成に努めていく。災害対応を時系列で整理した防災行動計画（タイムライン）については国や道などの情報を集め、調査研究を行って参りたい。

まちづくり 常任委員会 所管事務 調査報告

冬期間の道路管理について

安全な除排雪 体制の維持を

調査内容

令和4年度町道維持管理路線、契約状況について
令和4年度除排雪事業について（現地調査実施）

問 排雪の基準は

答 特に明文化されたものはないが、通行に支障が出る幅員にまで狭くなった状態

問 国道・道道・町道で管轄はあるが、交差点の雪山は何とかすべきでは

答 総務課と建設環境課でまず意見調整し今後の対応を検討する。

問 建設業界の人手不足への対応は

答 将来に向けた課題の1つと考えており、今後関係団体と検討する。

【委員会からの意見・要望】

除排雪については、本年度のように集中的降雪が続いた中でも、住民の暮らしに支障がないよう安全、安心な道路交通の確保に努めていることは大いに評価する。

近年、高齢化により、流雪溝や融雪槽への投雪が困難な状況が見られ、国道や町道において見通しの悪い箇所があるなど安全面の確保が懸念される。

国道、道道にあっては、交通安全の観点から町として、も対策の検討を進めていきたい。



地域包括支援センター 業務について

地域包括ケアシステム の推進を期待

調査内容

地域包括支援センターの運営方法、人口の推移、介護保険認定率の状況、地域課題について、令和3年度活動実績、令和4年度業務計画

問 自宅での生活環境の整備は

答 要支援の方であれば、介護支援係の社会福祉士か保健師が訪問して、実際にどういう住宅改修が必要か判断する。判断できない場合は、経験の多い業者と相談して支援をマネジメントする。

問 地域の関係性の再構築は

答 単位老人クラブから情報収集し、共に考えていき

たい。

又、地域の支えあい活動についても、社会福祉協議会と課題を共有し、様々な手段で対策を講じる。

問 高齢者の方にもスマホやタブレットを利用してもらうっては

答 スマートエイジング教室の取り組みをスタートした。今後さらに普及のきっかけとして取り組む。

【委員会からの意見・要望】

地域包括ケアシステムの構築には、住民組織や民間事業者など生活支援サービスや認知症支援対策の充実、医療と介護の連携強化など、町の特性や社会資源を活かした対策が重要。

今後においても、地域包括ケアシステムの推進のため住民の中に、自助と互助の必要性や在宅ケアについて理解されるよう、普及、啓発に取り組んでいきたい。

又、要介護認定率の上昇、認知症高齢者の増加が見込まれることから、様々な対策を実施し、本町の地域包括ケアシステムが益々推進されることを期待する。

奈井江版生涯活躍の まちの実施状況について

将来展望を大いに 期待

調査内容

「奈井江版生涯活躍のまち」の事業概要、推進体制、各プロジェクトの実施状況。
一般社団法人ないえ共奏ネットワークの概要について

問 しごとコンビニのターゲットは

答 子育て世代が中心と考えるが、高齢者や20代の学生も候補として検討している。

問 他市町村のしごとコンビニの実際の住民登録者数は

答 2年間の実績だが、岡山県奈義町では、登録者数177名、稼働者数は、6283名、東川町は登録者数303名、稼働者数7350名

【委員会からの意見・要望】

少子高齢化が進展し急速な人口減少により、地域住民のつながりや支えあい活動の機会減少が大きな課題となっている。

このような様々な課題を解決するため、当町では「奈井江版生涯活躍のまち」のコンセプトを「誰もが躍動し、寄り添い集う全世代共奏のまちづくり」とし、大きく「活躍・しごと」「住まい」「健康」「交流・居場所」の4つのプロジェクトを推進することが報告された。

地域再生計画に掲げられた事業を着実に推進し、町民誰もが活躍でき、健康で安心して暮らせる「まちづくりの確立」に向けて、実現されることを大いに期待する。

ようこそ奈井江町へ

定住・移住政策の成果により奈井江町へ移住する方が増えています。

今回は、上杉さんファミリーです。



私たち家族は農業を生業としたく、色々な町を見に行き、様々な方に話を聞いてきました。その中で奈井江という町にご縁がありました。

奈井江という町を選んだ理由は、美味しいトマトを栽培していた岡本さんから技術を教えてもらうことができ、尚且つ自分たちが岡本さんが築かれた経営を継承できる点、自然豊かで山並みが綺麗な点、子育て支援・住宅支援の制度があつた点、これらが決め手となり移住してきました。



上杉さんファミリー



実際住んでみて、見ず知らずの私たち家族に優しく接していただき、困った時は助けていただける環境に非常に感謝しております。まだまだ岡本さんが栽培していた時のような味のトマトには追いついていませんが、いつか追いつき、皆さんに食べていただけるよう日々精進していきます。と思います。

奈井江の皆様、今後ともよろしくお願ひします。

新たな議会構成

議長 森岡 新一
副議長 大関 光敏

議会運営委員会

委員長 篠田 茂美
副委員長 石川 正人
委員 大関 光敏
根岸 一志

まちづくり常任委員会

委員長 石川 正人
副委員長 笹木利津子
委員 大関 光敏
大矢 雅史

広報常任委員会

委員長 遠藤 共子
副委員長 根岸 一志
委員 笹木利津子
星 厚早

委員会報告

Committee Report

議会運営委員会報告

- 1月27日
 - ・第1回臨時会の議会運営について
- 2月27日
 - ・第1回定例会の議会運営について
- 3月16日
 - ・追加議案について

広報常任委員会報告

議会だより30号
(2月15日発行)
編集のため4回の委員会を開催

全員協議会報告

- 1月27日
 - ・第1回臨時会について
 - ・町からの報告事項
- 2月24日
 - ・第1回定例会の議案説明について

第2回定例会(予定)

- 日程 6月16日(金) ~ 6月20日(火)
- 場所 役場3階議事堂
どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。
- お問い合わせは議会事務局まで
65-2166
gikai@town.naie.lg.jp

全国町村議会議長会 自治功労者表彰

大矢雅史 副議長

2月8日開催された全国町村議会議長会定期総会において町議会議員として15年以上にわたり、地域の振興発展に寄与貢献した功績があったとして表彰を受け、3月3日、奈井江町役場議場において伝達式を行いました。



編集後記

3月定例会から、はや6月を迎えました。人口減少や少子高齢化の進行に伴い様々な課題もあるなか、生涯活躍のまちづくり事業が進められ、誰もが活躍できる取り組みも多く、皆さんの期待も大きいかと思えます。

これまで4年間にわたる議会の様子を様々な観点から発信してきましたが、本誌作成にご協力いただきました方々には、心から感謝を申し上げます。次号からは新たなメンバーになりますが、これまで同様で愛読いただきますようお願い申し上げます。

発行 奈井江町議会 編集 広報常任委員会

委員長 遠藤 共子
副委員長 笹木利津子
委員 大関 光敏
大矢 雅史